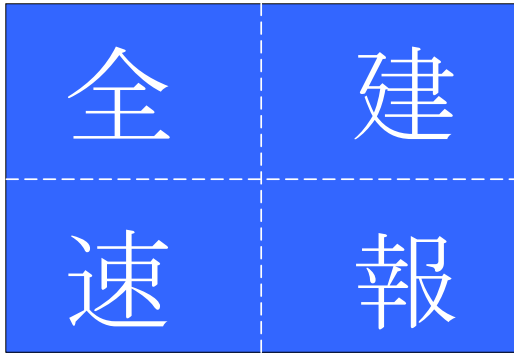


平成30年12月1日



No. 407

＜第 647 回建設技術講習会を富山市で開催＞

第 647 回建設技術講習会が、富山市において平成 30 年 10 月 24 日（水）～26 日（金）の 3 日間、「これからの公共事業と建設技術者のあり方」をテーマに、全国から 356 名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の 3 講演が行われました。

- インフラの整備と経済成長 ～全建会員が持つべき知識～
- これからの社会資本マネジメントに関する取り組みについて
- 「安寧の公共学」の取り組み

講習会 2 日目は、下記の 4 講演と講習会 3 日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 社会経済システムのイノベーションを創出する道路
～社会資本政策の総合戦略とイノベーション～
- 社会資本整備を巡る状況と未来を拓くリーディング・プロジェクト
- i-Construction の推進について
- 地域事業の紹介 2 事業

講習会 3 日目の現場研修は、244 名が参加して「立山カルデラ砂防博物館」、「本宮砂防堰堤」、「富山県美術館（全建賞受賞事業）」、「富山駅付近連続立体交差事業、富山駅周辺土地区画整理事業、路面電車南北接続事業」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、恒例となった「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を92名の参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意により、地元の銘酒と、富山の特産「ます寿司」の食べ比べなどが用意され、盛況のうちに終了となりました。



全建大石会長の講演の様子



現場研修の様子
「本宮砂防堰堤」

＜第 648 回建設技術講習会を秋田市で開催＞

第 648 回建設技術講習会が、秋田市において平成 30 年 11 月 14 日（水）～16 日（金）の 3 日間、「都市行政の課題・河川行政の課題」をテーマに、全国から 234 名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の 2 講演と講習会 3 日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- まち・ひと・しごと創生のための都市行政の課題
- 激甚化する災害への備えについて
- 地域事業の紹介 2 事業

講習会 2 日目は、都市部門と河川部門の 2 会場に分かれ、それぞれ下記の講演が行われました。

【都市部門】

- 立地適正化計画制度によるコンパクトなまちづくり
- 地域交通とまちづくりについて
- 都市の防災・減災と復興事前準備について
- 「官民連携まちづくり」のすすめ
- 歴史・景観まちづくりについて

【河川部門】

- ダム事業の最近の取り組みについて
- 河川管理の最近の取り組みについて
- 最近の治水行政について
- 砂防行政に関する最近の話題について
- 水辺とまちの未来創造について

講習会 3 日目の現場研修は、150 名が参加して「秋田市中心市街地活性化基本計画」、「斉内川流域治水対策河川事業」、「大曲通町地区第一種市街地再開発事業」、「雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業」について現地で説明を受けました。

また、1 日目の講習終了後、ここ秋田でも「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を 79 名の参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意により、酒どころ秋田の銘酒のご提供もあり、盛況のうちに終了となりました。



国土交通省 水管理・国土保全局
河川計画課 河川技術調整官
林 雄一郎氏 の講演の様子



現場研修の様子
「斉内川 流域治水対策河川事業」

＜平成 30 年度 公共工事品質確保技術者 更新講習と資格試験が終了しました＞

平成 30 年度公共工事品質確保技術者の更新講習と資格試験が終了しました。

更新講習については、9 月 7 日（金）の東京会場を皮切りに 11 月 16 日（金）の福岡会場まで全国 10 会場で開催され、品確Ⅰは 530 名、品確Ⅱは 951 名、合わせて 1,481 名の方が受講されました。

また、資格試験については、10 月 6 日（土）の札幌会場を皮切りに 11 月 17 日（土）の東京と福岡の両会場まで全国 9 会場で行われました。平成 30 年度は、品確Ⅰを 79 名の方、品確Ⅱについては 63 名の方、合わせて 142 名の皆様が受験されています。

なお、試験の結果については、12 月に開催される資格認定委員会に諮られて合否が決定され、12 月中には全建ホームページで発表するとともに各受験者にお知らせします。

＜「2019 年全建手帳」 完売のお礼＞

2019 年版全建手帳は、今年も会員皆様のご意見などを反映させ、さらに使いやすくなるよう大きく改定を行ったところですが、おかげをもちまして完売しました。

皆様のご購入、ありがとうございました。

＜地方自治体での土木職のなり手不足が、新聞でも取り上げられる状況に。

**このような厳しい状況の中、全建では全国の技術者が連携・交流し、
技術水準と社会的地位の向上を目指しています＞**

東京都内で配られた平成 30 年 11 月 9 日の読売新聞で、「自治体 土木職求む！」と大きな活字の見出しが目飛び込んできました。見出しはこれだけでなく、「面接のみ・保護者説明会」と活字を少し小さくして並んでいます。サマリーを読むと、「全国の自治体で土木職が 10 年間で約 2 万人も減少するなど、なり手不足が深刻な状況。」とあり、「災害復旧など新たなニーズは増しているが、大規模開発の減少や『きつい』といったイメージの広がりがあるとみられる。」と、この原因を分析しています。

記事の本文には、各地の自治体の取り組みとして、「技術職は筆記試験なし・専門知識は入庁後の研修で身に付けることができる。」とか「保護者説明会・休暇はきちんと取れ、家族との時間を持てるなど、子の地元勤務を希望する親心に訴えた。」などと紹介されています。さらに、「土木系の職員は、災害復旧やインフラの維持管理などに欠かせない存在だが、そうした対応ができないという状態にもなっている。」と、常々我々が危惧している点の指摘もなされています。

このように、土木職のなり手不足とそれに伴うインフラの維持管理に支障が出てきつつあることなどが、新聞でも取り上げられるほど厳しい状況にあります。

全建は、このような厳しい環境に対応するためのお役に立ちたいと考えています。是非、全建をご活用ください。

**＜「訴えられたら」どうしますか?! インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…
2018 年度建設系公務員賠償保険 いつでも加入できます 途中契約受付中!!＞**

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討ください。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた
（パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等）
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連（積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟）
- 許認可関連や情報公開請求（手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等）
- 地元対応（言った言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル）

本保険が好評な理由

- 建設系公務員のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2018年度保険には、平成30年8月1日からの通年契約に、昨年を上回る2,780名の会員の皆様に加入していただきました。

本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約ではなくても「いつでも途中加入できます」。2018年度保険でもすでに536名の方が途中加入し、現在は3,316名の方が加入しています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、途中加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2018年度保険パンフレット及び申込書（払込取扱票）は「月刊建設」2018年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡ください。（パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます）
- ③加入（更新）手続きがインターネットでも行えます。
- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、本会ホームページ（会員サービス）をご参照ください。

【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手
取扱代理店：建栄サービス株式会社 竹田
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：00～17：00
TEL：03-3291-6340 E-mail：kenei-s-hp@kenei-s.co.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
（担当） 公務第一部 公務第一課 安斉
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：00～17：00
TEL：03-3515-4122
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）
会員課 春日 竹村
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kaiin@zenken.com

＜全建CPD（継続教育）は建設系CPD協議会に加盟しています＞

平成 29 年 4 月から全建の建設系CPD協議会への新規加入が承認されています。

これにより、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD加盟団体での認定と同様な扱いとなりました（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様な扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページをご覧ください。

（ http://www.zenken.com/ZK_CPD/CPD.html ）

【問い合わせ先】 事業課 高野

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：zkcpd@zenken.com

＜「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について＞

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

この出前講座では、岩手、宮城、福島 の 3 県と仙台市のご協力で行っていた「東日本大震災の対応や復興に関する事項」に加え、「平成 28 年熊本地震の対応や復興に関する事項」を熊本県のご協力を得て実施しています。

何処でどのような災害が起こっても不思議ではないと謂われている今日、災害に直面し貴重な体験を通して得られた「技術」を、当事者だけのものとせず全国の全建会員共有の「技術」とし、国民の安全・安心につなげていくため、是非「伝承プロジェクト」をご活用ください。

なお、「伝承プロジェクト」開催には、講師派遣旅費の全額助成と出前講座実施運営費に上限 4 万円の助成を、全建本部で行います。詳しくは、下記の担当までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 事業課 下野 高野 戸村

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kensyu@zenken.com

＜全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について＞

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、可能な限り出席させていただき、ご意見等を伺うとともに、本部からの連絡事項等をお伝えする機会として活用させていただきたいと考えています。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会のご負担をいただくことはありません。

【問い合わせ先】 総務課 小沢

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：soumu@zenken.com

＜「平成 30 年度 災害手帳」 販売中！＞

本会出版の「平成 30 年度災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるよう、用語の解説や索引など、一層わかりやすい編集となっています。

【問い合わせ先】 企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設の災害申請工法のポイント」－平成27年改訂版－ 販売中！＞

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

＜平成 27 年版の主な改訂点＞

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

○平成 27 年改訂版の概要

- ・体裁：A-5 判、カラー、304 ページ
- ・定価：2,900 円（会員価格：2,320 円） 消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－平成26年改訂版－ 販売中！＞

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（工種別）他、留意事項等を取りまとめています。

＜平成26年版の主な改訂点＞

- ・平成25年8月事務連絡「災害査定添付写真について」等に基づき全面改訂
- ・全景写真、横断写真、写真等の事例（工種別）について、平成25年の簡素化事例写真を掲載

○平成26年改訂版の概要

- ・体 裁：A-5判、カラー、73ページ
- ・定 価：2,300円（会員価格：1,840円） 消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kikaku@zenken.com

< 「技術者のための災害復旧問答集」－改訂版－ 販売中！ >

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q & A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

○改訂版の概要

- ・体 裁：A-5判、254ページ
- ・定 価：2,592円（会員価格：2,052円） 消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kikaku@zenken.com

< 技術図書の4割引を斡旋しています >

出版各社の協力を得て、技術図書の4割引斡旋をしています。技術資格取得のための参考書や技術的読み物など沢山の技術図書が対象となっております。今後も更に対象図書の拡大を図って行きます。

なお、同一会員が補助を受けられる冊数は、同一図書については、一冊となっておりますのでご注意ください。

詳しくは、<http://www.zenken.com/service/gijututosho/gijyututosyo.html> をご覧の上、是非この機会にご活用ください。

【問い合わせ先】 企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640 E-mail：kikaku@zenken.com

< 全建メールマガジン登録随時受付中 >

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月1回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！

全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行なってください。

全建メールマガジンのページは、こちらです。

https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html

最新号のメールマガジンは、こちらをご覧ください。

http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html

平成30年11月の動き

○11月 1日（木）	機関誌 月刊「建設」 11月号発行 特集：地域の活性化の推進 ～観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に～	（発行部数部61,200部）
○11月 2日（金）	公共工事品質確保技術者資格登録更新講習 （浦添市）	於：沖縄県浦添市
○11月 9日（金）	公共工事品質確保技術者資格登録更新講習 （高松市）	於：香川県高松市
○11月10日（土）	公共工事品質確保技術者資格試験（高松市）	於：香川県高松市
○11月14日（水） ～16日（金）	第648回建設技術講習会 都市行政の課題・河川行政の課題	於：秋田県秋田市
○11月16日（金）	公共工事品質確保技術者資格登録更新講習 （福岡市）	於：福岡県福岡市
○11月17日（土）	公共工事品質確保技術者資格試験（福岡市）	於：福岡県福岡市
○11月17日（土）	公共工事品質確保技術者資格試験（東京）	於：東京都渋谷区
○11月20日（火）	公認会計士会計監査	於：協会会議室
○11月22日（木）	編集委員会	於：協会会議室
○11月28日（水） ～30日（金）	第649回建設技術講習会 災害に強い安全な国土づくり	於：熊本県熊本市

平成30年12月の予定

○12月 1日（土）	機関誌 月刊「建設」 12月号発行 特集：社会資本のストック効果	（発行部数部61,200部）
○12月 3日（月）	第3回公共工事品質確保技術者資格認定委員会	於：協会会議室
○12月 4日（火）	全建賞委員会	於：協会会議室
○12月 6日（木） ～ 7日（金）	実地研修会 平成29年7月九州北部豪雨 小石原川ダム	於：福岡県福岡市
○12月28日（金）	仕事納め	